

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	クローバー(放課後等デイサービス)		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 1日		2026年 3月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	63人	(回答者数) 35人
○従業者評価実施期間	2026年 2月 1日		2026年 3月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10人	(回答者数) 10人
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がされている。 ※アンケート②の項目が高い。	週に1回の会議にて、活動時の子どもの様子を情報共有、具体的な支援に繋げることを意識している。利用時の子どもたちには、寄り添う気持ちを大切に一人一人丁寧に話を聞く意識を持ち、特性に合わせて、視覚支援を用いて、情報伝達を行っている。当日の子ども様子は、利用当日にスタッフ間でタイムリーに共有を行い、送迎時に保護者へお伝えをしている。	発語がない子など、意思伝達が難しい子どもたちに向けて、学校や保護者様との連携機会を増やし、視覚支援などのコミュニケーションツールを拡充していきたい。
2	・子どもの希望を反映したプログラム作成 ※アンケート②の項目が高い。	日々の支援の中で聞いた子どものプログラムへの希望を週一回の会議で共有して、毎月のプログラムに反映することができている。日々の定番プログラムでも偏りがないように、行きたい公園をヒアリングして決めたり、買い物先を子どもたち同士で相談する等、飽きがこないように工夫している。子ども向けのアンケートで活動のランキングなども作成して掲示している。	保護者の希望も反映できるようにプログラムに対する希望をヒアリングする独自アンケートを作成し、配布予定。子ども、保護者からの希望を丁寧に伺い、新しい体験や経験ができるような新しいプログラムを試行錯誤していきます。
3	・個別支援計画への納得感が高い ※アンケート⑦の項目が高い。	月一回、個別支援計画原案会議を行い、全職員で子供たちの日々の様子や強み、課題を共有、協議して、児童発達管理責任者が個別支援計画を行っている。毎日、子供の様子を記録をしているサービス提供記録には、個別支援の目標を明示し、意識して支援できるように工夫している。タイムリーに子供たちの変化を職員間で情報共有できていることも強みと思います。	現状の取り組みを継続すること、個別支援計画作成のためのモニタリング時、子どもごとに担当をつけて児童発達管理責任者との連携を強化することを検討していきたい。担当をつけてモニタリング時の一貫性の高い情報を基にすることで、より効果的、納得感の高い個別支援計画を作成していきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者同士の連携の機会の充実 ※父母の会の活動の支援や保護者同士の連携が支援されている項目が低い。	事業所主導で、保護者同士の意見交換が出来る場や機会を設けることができていない。	保護者が参加できるイベントやプログラム、参観など、子供の様子を見たり、保護者様と一緒に参加出来るような体験の機会を検討して、保護者間のコミュニケーションを増やしていけるようにしていきたい。
2	・障がいのない子どもと活動する等、地域交流のイベントが少ない。 ※認定こども園などの交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるの項目が低い。	大学の文化際に行ったり、地域のスポーツイベントに参加するなど、少しずつ、地域交流のイベントは増やしているが、保護者様からの満足感に繋がるまでには至っていない。	地域交流における子どもたちへのメリットを再度メンバーへ周知して、地域交流のイベントについての情報収集予定。週一回の会議にて、プログラム案検討の時間を設けて、定期的に職員から情報整理を行い、反映していく。系列事業所での地域交流イベントとコラボすることを検討していく。
3	・家族支援の機会の充実 ※保護者に対して、面談や育児に関する助言等の家族支援が行われている。	日々のご自宅への送迎時、保護者様と子どもの様子をお話する時間を活用して、ご自宅での様子やお困りごと、悩みごとなどができれば、相談をさせて頂いている状況。	まずは、送迎スタッフの保護者様とのコミュニケーションを強化していきたい。より、相談しやすい環境を意識し、保護者様からの意見をヒアリングしやすいようにしていく。半年に一回、個別支援計画作成のアクセスメントを取得する際に悩まれていることがないかをチェックして、必要に応じて、事業所での対面での相談なども検討していきたい。